

★全棟ZEH住宅

家選びの基準、変わります



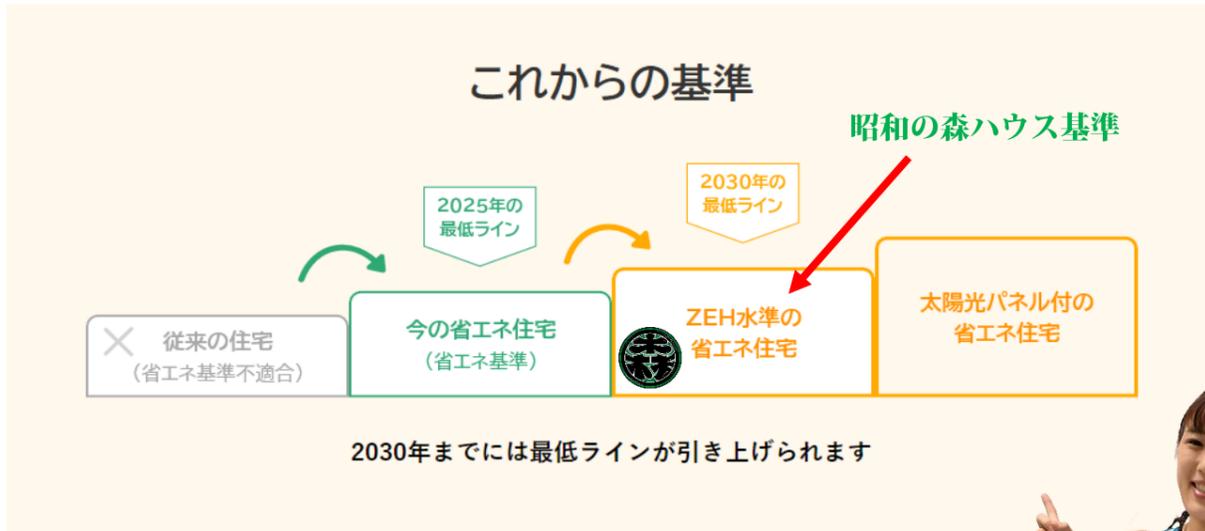
①住まいの熱を快適にコントロールできること！

屋根・外壁・窓などの断熱の性能に関する基準があります。(外皮基準)
屋根や壁を断熱材や高断熱でくるんで、魔法瓶のような構造にする！

②住まいのエネルギーを賢く使えること！

暖冷房、換気、給湯、照明など住宅で使うエネルギー消費量に関する基準があります。(一次エネルギー消費量基準)
高効率のエアコンや給湯器、LED照明にして、エネルギーを上手に使う！

省エネ住宅の基準は段階的に変わります。



2025年には今の省エネ住宅が新築住宅の基準に。

さらに2030年にはZEH水準の省エネ住宅が、新築住宅の基準になります。

昭和の森ハウスの新築住宅は、すでに
2030年のZEH水準の省エネ住宅の基準をクリアした住宅が標準仕様となります。

家は、省エネ性能があたりまえ。そんな未来が、すぐそこまで。

昭和の森ハウスの家は、ZEHが標準仕様！

日本では今後、住宅の省エネ対策の義務付け、段階的な基準引き上げが予定されています。
これに先立ち、2024年4月より、住宅の販売・賃貸広告に「省エネ性能ラベル」が表示され、省エネ・断熱のレベルが一目で分かるようになりました。

ZEH水準の家

太陽光発電を装備しなくても、ZEH水準の家は建築可能です



ZEH水準の省エネ住宅なら、エネルギーの使用量を削減でき、日々の光熱費を抑えることができます。
しかし、ZEH住宅にするには太陽光発電を装備したり、蓄電システムを装備したりと費用の増大をイメージしていて、なかなか踏み出せない方も多いと思います。
そんな中で、断熱性能を高めることで、太陽光発電などの装備をしなくても、ZEH水準の家を建築することが昭和の森ハウスでは可能となっております。



太陽光発電などの
装備がなくても大丈夫！

昭和の森ハウスの標準装備である吹付け断熱と高断熱サッシを使用することで、太陽光発電などの装備をしなくても、ZEH水準を取得可能となっております。

ZEH水準基準のUA値0.6以下を実現。
国の補助金対象など、メリットが多くあります。
なにより、省エネ住宅となりますので、日々の光熱費削減に大きく繋がります。



ZEH水準の
UA値0.6以下をクリア

住宅版 BELS

一般財団法人 住宅性能評価・表示協会による
新しい住宅省エネ性能の表示制度です。

昭和の森ハウスの建物は、ZEH水準対応住宅となっております。

BELS(建築物省エネルギー性能表示制度)を全棟標準となっております。

国のお墨付きが与えられる省エネ性能表示制度であり、建物の省エネ性能、資産価値を示すひとつの指標となります。



ZEHはこれからの住宅のトレンド
省エネルギー住宅で、さらに快適な住宅へ